

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月2日(木)10:00~12:00
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	12名

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	0	12	0	0	12

## 前回の改善計画

・初期支援の段階でご家族の役割を明確にし、できる支援を継続してもらえる環境をつくる。全職員が家族と積極的に関わる意識を持ち必要な時に迅速に連携が取れるようにする。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

・初回利用時のご本人の様子を記録に残し、当日の職員間では口頭でも申し送り、ご家族への方の様子を報告や適切な声掛けを行えるよう情報の共有を行った。  
 ・家族と積極的に関わる意識は出来ていたが、その内容を職員間で共有し必要かどうかを検討する必要があった。  
 ・ご家族が何を求めているかを意識し寄り添うケアを行えたと思う。何か問題が生じた際は全職員で周知、解決するよう努力した。ケアマネ以外でも必要時家族や関係機関へ連絡できている。できる支援を継続してもらえ環境づくりは行えていたと思う。  
 ・現在の心身の状態を伝える為、ご家族との連携は意識してやっている。ご家族とお会いした際にコミュニケーションを図る事で必要時に連携がとれる環境に繋がっている。同居世帯が少なく、ご家族がご利用者の状態を全て把握出来ていない為、家族の役割は限られていると思われる。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	12	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	9	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	1	0	12

できている点 200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・ご利用者だけでなくご家族の様子にも気を配り、職員間で共有した。  
 ・ご利用者ご家族に対して印象や言葉遣いには十分気をつけている。新規利用時期には決して無理せず、見守り傾聴してきた。どんな場合でも不信感を持たせるような態度を慎み、肯定的な言葉遣い、態度を心掛けた。  
 ・フェイスシートや情報の共有にてご本人やご家族の要望、希望の理解に努め、積極的にお声掛けをして職員や施設に慣れてもらうようにした。  
 ・現場では目配り気配り心配りを意識している。コミュニケーションを取る時は必要な距離間で接している。  
 ・在宅支援は家族の協力もなければ成り立たない為、家族への配慮も十分に意識し挨拶だけで終わらないようにしている。必要に応じてご家族に協力して頂ける場面もある。

できていない点 200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・初回利用時の職員が情報を対面で行い、確実に共有する必要性を感じた。  
 ・援助に課題があるご利用者家族とのコミュニケーションが不足していると感じる。家族が考えている事と職員の方向性が一致しない事がある。  
 ・フェイスシートの読み込みが足りず、何処からお話をさせて頂いたら良いかわからない時がある。  
 ・ご家族は近くにいるが、連絡がつかない事があり対応に迷う時がある。  
 ・変化に応じて情報も多く、細かな詳細や内容についてはその都度確認が必要な時がある。  
 ・ご家族がどのような面で不安を感じているのか把握出来ていない事があった。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・初回利用時に関わった職員が中心となり情報共有し、初期支援に必要な早期対応や今後に向けての課題を検討する。ご家族の役割を明確にし、できる支援を継続してもらえ環境をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月2日(木)10:00~12:00
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	12名

## ◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	5	1	12

## 前回の改善計画

・お互いを知り信頼関係を築くため、新規利用者から数名を抽出し「～したい」を確認し実現に向けた取り組みを行う。

## 前回の改善計画に対する取り組み結果

・ご利用者との関係性を築く為にコミュニケーションを図り、出来る範囲で取り組みを行っている。関わりの中から、信頼関係を築き本人の思いに寄り添う事が出来た。  
 ・ご利用者に対して特にコミュニケーションを意識している。始めは遠慮がちで自分の気持ちを話せない方も多いが、信頼関係が出来始めると自分の思いを話してくれる。「～したい」を実現する事は生活に張り合いが出来る為、聞き出す事から始め次に繋げられるようにしたい。  
 ・1対1で会話をする時間を作る事は中々難しいと思うが、季節の展示物を作成したりする事で向き合える時間や自分の思いを話して頂けるように努めた。  
 ・日々の業務内での関わりから得た事を言語化する事により、ご本人の希望を取り組む事が出来た。しかし、ご本人の希望と現実が混雑している場合の取り組みが難しかった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	2	10	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	9	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	8	1	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	5	0	12

## できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・日々の関わりや定期的なモニタリングでご本人に今必要な支援や出来る事等を理解し「～したい」に繋がる支援を行った。  
 ・ミーティングで上がった議題については活かしている。  
 ・安心した生活をする為、どのようにしたら最善なのかご本人が満足するような援助を心がけた。  
 ・無気力のように感じる方が多く目標を理解できるご利用者は少ないと思うが、今までの生活の中で好きだった事(趣味や食べ物等)を聞き出せるように努めた。  
 ・ケアプラン内容を確認している。ご利用者と話をしながら押しつけにならないようにしている。  
 ・安心した生活が送れるように丁寧に満足して頂けるようなケアを心がけた。

## できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・「～したい」の希望を組み取る事は出来ても、身体的、経済的等の理由で実現が難しい事が多くある。ご利用者の希望と現実の中間地点を探る事が難しいと感じた。  
 ・ご本人の「～したい」が明確になっていない為、不十分である。  
 ・ミーティングで発言せず近くにいる職員と話し合っ解決し終わっている。職員によって視点が違うので意見を聞いてみたい。  
 ・日々の業務をこなす事で精一杯で、ご利用者それぞれの目標に対する援助まで出来ていない。  
 ・どうしたら実現できるか、情報共有や実施する事ができなかった。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・ご利用者の「～したい」について職員間で話し合い、現状としてどのような関わりをしていけば達成できるか検討する。できる範囲で理解し、取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月2日(木)10:00~12:00
3. 日常生活の支援	メンバー	12名

## ◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	2	10	0	0	12

## 前回の改善計画

・ご本人との信頼関係を築くため積極的に話をする機会を設け、好きな事や嫌いなこと、以前の暮らし方などをアセスメントする。ご本人の言葉からだけでなく、表情などからも気持ちや変化に気付けるようにする。

## 前回の改善計画に対する取り組み結果

・日々の関わりの中でご本人と話す機会を多くし過去の暮らしや現在の希望などを把握することが出来た。  
 ・細かな気付きも職員間で情報共有しその日その時に合わせた支援に努めた。  
 ・ご利用時と出来るだけ関わりを持ち、言葉を引き出し表情や気持ちの変化に気が付けるように注意している。気が付いたことは職員間で共有し支援に繋げていた。  
 ・日々の会話や挨拶、作品づくりなどの関わりから以前の暮らし方など情報を把握することが出来た。  
 ・サービス開始時は不安感が少しずつ軽減できるように積極的に会話を持った。会話の中から本人の思いをくみ取り気が付いたことがあれば共有し周知に努めた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	9	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	11	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	3	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	12	0	0	12

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者と会話する時間を増やし気持ちを把握するように努めた。以前よりも本人の気持ちについて職員間で話す機会を多く持った。  
 ・定期的に基礎的な介護が出来ているか振り返りを行っている。  
 ・すべてを援助するのではなく自立を促した。  
 ・全利用者10個以上とはいかないが本人、家族との会話で以前の様子を聞くことが出来た。共感することでどのように生活したいかの把握に繋がり、すぐに対応可能なことであれば管理者へ相談し解決へ繋げている。  
 ・ミーティングでも共有し統一したケアが行えるように努めた。

## できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・本人の以前の暮らし、こだわりについて情報不足の所がある。限られた関わりの中で以前の暮らし方や生活環境を把握出来ていなかった。現在の生活状況を把握することに重きを置いてしまった。  
 ・管理者へ直接相談したり近くの職員で話をするだけでミーティングの場での発言は少なかった。  
 ・1対1での時間を業務の中から作り出すことが出来ていないと思う。業務優先になっていることがある。本人の訴えによっては即座に支援に繋げる難しさがありその都度出来る支援を考慮する必要がある。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・日常の生活環境から状況に合わせた支援に繋げるため常に気付きの意識に努める。「暮らしの情報シート」(アセスメント表)を活用し職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月2日(木)10:00~12:00
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	12名

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	9	3	0	12

## 前回の改善計画

・朝夕訪問の際、今日の予定や今日どのように過ごしたかを会話の中からお聞きする。日常を知ることによっての方が地域の中でどのように生活しているかを把握する。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

・記録がタブレットになったことで把握しやすくなった。  
 ・訪問時は必ず”今日は何しますか(しましたか)?”と過ごし方について聞いたり、天気や日にちを伝え会話を広げられるように努めた。何となくだが行動が見えることもある。  
 ・訪問時にできる限り会話の機会を設けたが、他の援助をしながらだったり次の訪問時間を気にして深い話にまで発展できないことも多々あった。プライバシーの面からも具体的に聞けないこともあった。  
 ・ご本人とコミュニケーションを図ることでその時の様子を確認できているが、認知機能が低下している方に関しては会話の中で読み取ることが難しい時もあった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	3	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	11	1	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	5	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	10	0	12

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・資料や会話の中で情報を得ている。生活歴などある程度把握しコミュニケーションに活かしている。  
 ・独居のご利用者は本人との会話の中からどのように過ごされていたのかをお聞きし、ご家族が同居されているご利用者はできるだけ家族と関わりを持ち、会話の中から把握できるように努めた。ご家族へ情報を伝え、協力して在宅生活が続けられるようにしている。  
 ・今までコロナ禍もあり人との関わりがない中で、最低限だが地域の関わりは把握できている。  
 ・地域の小学校の運動会に参加するため、訪問や利用の調整を行った。  
 ・訪問の際、短い時間でも今日何をしたか、何をする予定か?等何気ない会話を持つよう心掛けた。

## できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・生活スタイルや人間関係を把握できているご利用者に偏りが出ている。  
 ・訪問の時間が押していたり、援助内容が多くなかなか会話に発展しないこともあった。  
 ・訪問や通いで関わっている時間以外どのように過ごされているかお聞きしていることと、実際どう過ごされているか合っているのか分からない。ご本人の生活スタイルに関して現状支援の取り組みとして難しい場面もある。  
 ・初めて宿泊を利用された時、慣れていないこともあると思うが夜間眠れていないと感じたご利用者がいた。転倒を繰り返す一因でもあった。通いで来られた時にウトウトしていたため布団へ誘導したところ、ぐっすり眠っていた。同居家族がいれば情報をもらえるが、独居の場合はすべてを把握することは難しい。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・担当職員及び日頃の関わりの中で職員が知り得た”その人について”を「暮らしの情報シート」(アセスメント表)で共有し、地域との関わりを継続できるよう支援内容を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月2日(木)10:00~12:00
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	12名

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	11	1	0	12

## 前回の改善計画

・気づきをそのままにせず、発信共有し支援に繋げる。また、他職員の気づきを学び、自分の援助に活かす。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

・気づきを共有し、得た情報は次の援助に活かしたり、他の職員の気づきを積極的に取り組んだ。常に職員で情報共有が出来ている。話しやすい雰囲気である。  
 ・日々の関わりで小さな変化に気が付けるよう表情や言動に注意して支援することが出来た。  
 ・気が付いたら声を出す→相談する→共有する→徹底するを基本に行ってきた。  
 ・接遇アンケートを通して他職員の援助をよく見るようになり自分の援助の振り返りが出来た。  
 ・自分一人では気が付けなかった点も他の職員に教えてもらい支援の参考にした。一つ一つの支援に対して向上心を持つように意識した。  
 ・気づきはあるが管理者へ報告・相談、または周りの職員との話し合いで終わっている。ミーティングでの議題として挙げていないため自分の気づきや意見が全職員に共有できていないと感じることもあった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	10	2	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	12	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	0	0	12

## できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・変化に気が付けるように日々の関わりを大切にして支援を行った。職員一人一人が気づきや変化に関して意識を持って対応しているので自身も支援の参考にした。  
 ・タブレットになるべく的確に入力するように努めた。タブレットが導入されたことで変化に気づきやすくなりリスクが分かりやすくなった。  
 ・接遇アンケートを通して自分の援助を振り返ったり他職員の援助をよく見るようになった。  
 ・ご利用者の状態に合わせて必要時に訪問を追加したり夏場の熱中症のリスクが考えられるときは家族と相談して連日通いにしニーズに対応出来た。  
 ・ふれあい収集、配食サービス、薬局による薬の配達、介護タクシー、有償ボランティアなど地域の資源を活用し在宅支援が継続出来ている。  
 ・小規模はケアマネ・看護・介護職員で常に話し合いが出来る事業所であり千秋でも利用者にあったサービスがタイムリーに提供できている。コロナ対策がもっと緩和されれば地域との関わりはもっと増え楽しみが出来ると思う。

## できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・十分な情報が得られなく地域の資源にどのようなものがあるのか把握できていない。  
 ・訪問後に事業所内で情報共有を心掛けるもうっかり忘れてしまうことがあった。  
 ・変化に気が付いても発信せずにその場で終わっていることがあった。地域資源を活用した支援の具体例を理解する必要がある。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・気づきをそのままにせず、発信共有し支援に繋げる。援助を増やす検討だけでなく、本当に必要な援助なのか精査することで自立に向けた支援につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月2日(木)10:00~12:00
------------------	-----	-------------------------

6. 連携・協働	メンバー	12名
----------	------	-----

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	5	1	12

## 前回の改善計画

・担当者会議に出席し、他事業所とどのように連携しているかを再認識する。担当職員だけでなく、職員全体が他事業所との連携を認識できるよう、情報共有を行っていく。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

・職員が参加できる時は積極的に参加し情報の共有が出来ている。  
 ・担当者会議に参加したことはないがタブレットに内容が記載されているので確認している。  
 ・情報共有は出来ていたと思う。他事業所とどのように連携しているのか把握することが個人的に不足していた。  
 ・出席した職員より情報を集め次につながるよう他の職員にも周知し情報共有に努めた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	5	2	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	4	3	5	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	6	2	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	6	6	12

## できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・担当者会議に出席し情報を共有することで他事業所との連携を理解することが出来た。コロナ禍が緩和されたことで他事業所と関わる機会が増えた。  
 ・医療機関への情報提供や訪問看護の情報などタブレットで共有できている。  
 ・コロナ禍もあり外出行事がなかなかできなかったが緩和されたことで地域の行事にも参加できるようになった。今年度は大島小学校と希望が丘小学校の運動会に参加し地域との交流を図り楽しみや喜びを感じていただくことが出来た。  
 ・担当者会議に参加することでより詳しく情報を得て連携もできると実感した。

## できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・業務の都合上やはり出席できる職員、できない職員が出てくる。引き続き情報を共有し理解しやすい方法を考えていく必要がある。  
 ・参加したことがないため分からない。  
 ・地域の活動について情報が乏しくできていない。  
 ・感染対策は継続していた。④はまだ実施できる状況ではないため事業所へ外部の方が入ることは出来なかった。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・地域にどのような活動があるか情報を集め、参加できる地域活動は積極的に取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月2日(木)10:00~12:00

7. 運営

メンバー 12名

## ◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	0	6	4	2	12

## 前回の改善計画

・運営推進会議への職員参加は継続。運営推進会議に参加した職員は地域との関わりや役割に参加しなかった職員に伝達する。

## 前回の改善計画に対する取り組み結果

・運営推進会議に参加することで外部の方々との関わりを学ぶことが出来た。実際に出席することで地域との関わりや事業所を取り巻く環境を理解できた。  
 ・運営推進会議への職員参加は出来ていたが地域との関わりや役割の伝達に関してはあまりできていない。  
 ・運営推進会議の内容は書面に目を通して確認している。  
 ・会議への参加が少なく、情報の共有は出来ているが内容の理解は不十分だった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	0	9	2	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	2	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7	3	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	4	7	1	12

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・意見や苦情があった際は即座に報告、対応し情報共有に努めた。意見は真摯に受け止め苦情に繋がらないように情報の共有と話し合いを行った。  
 ・広報誌を月一回作成し地域の方やご家族へ伝えることが出来ている。  
 ・職員も運営推進会議に出席し、外部からの意見に触れる機会を持てた。記録として残し職員間で情報を共有することが出来た。  
 ・コロナの緩和もあり地域行事に参加している。センター行事は感染拡大などあるため行えていない。

## できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域との関わりが出来なかった。地域での連携がどこで取れているのか理解が不十分。  
 ・地域の方からの意見を聞く機会があまりない。協働した取り組みを行えていない。  
 ・ご利用者の状況によっては必ずしも希望に添えず、説明し受け入れていただく場面もある。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・よりよい事業所になれるようご利用者への関わり方や事業所のあり方について職員それぞれが意見を持ち、それらを発信し運営に活かす。今後も可能な限り多くの職員が運営推進会議に参加する機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月2日(木)10:00~12:00
8. 質を向上するための取組み	メンバー	12名

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	3	9	0	0	12

## 前回の改善計画

- ・事故報告書だけでなくヒヤリハットの改善策についても評価分析し事故防止につなげる。ヒヤリハットの記入について職員間で共有し、事故を未然に防ぐ。
- ・事故報告書の改善策を精査し、改善策が適切に機能しているかを確認する。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

- ・事故報告書についてなるべく多くの職員間で話し合い、期日を守って振り返り、対応に取り組むことが出来ている。
- ・報告書、改善策等、記入した時はしばらく出来るが、時間と共にヒューマンエラーが出る。ヒヤリハットをもっと書くようにする。小さな出来事でも、ヒヤリハットをあげていいと思う。
- ・ヒヤリハットを上げるだけでなく、その後の評価の必要性があると思った。
- ・事故報告に関しては評価分析し、改善策が適切に機能しているか確認できた。ヒヤリハットについては周知・改善策の分析が出来なかった。似たようなヒヤリが上がるがあった。
- ・日頃から必要なことをメモ等を活用し行っている。他職員からの指摘等には、2度目をしないように注意し個人メモに残している。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	4	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	5	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	4	7	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	2	0	12

## できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・施設内の研修は行えている。参加できなくても研修資料の回覧を行い、共有を行っている。
- ・事故報告書の改善策が行っていたかどうか評価を行った。
- ・毎月研修があるため、職員が参加しミーティングで伝達できている。
- ・その日の天候や業務内容からリスクがある点を意識して注意深く行動することに努めた。
- ・事故報告やヒヤリハットについて必要時はタブレットでも情報を共有した。統一した対応に繋がっている。
- ・日々の支援の中でリスクを考えた上で支援にあたっている。リスクだけでなく、予想もしっかり考えて行動に移すように意識している。

## できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・研修内容、取り組みについての理解が足りていない。
- ・業務に追われる中、なかなか研修は難しい。
- ・外部の研修や地域連絡会への参加はできていない。
- ・業務で精一杯で参加したいという気持ちがなかった。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・内外部への研修参加を優先し、スキルアップにつなげる。
- ・ヒヤリハットを活かすために、周知方法を工夫し改善策を分析する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月2日(木)10:00~12:00
9. 人権・プライバシー	メンバー	12名

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	0	12	0	0	12

## 前回の改善計画

- ・職員間での情報共有は場所や時間に気を付ける。日頃より職員同士で声を掛けあい適正な管理、対応をしていく。
- ・タブレットなど訪問等で外部へ持ちだす個人情報の管理を徹底する為に定期的に研修を行う。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員間での情報共有の取り組みは意識して行っている。タブレット入力して終わりではなく、変化や気付きに関しても職員間で声を掛けあい共有に努めている。タブレット等個人情報が載っているものについては十分に配慮して支援を行っている。タブレットを使うようになり個人情報の管理に対し今まで以上に気をつけるようになった。
- ・職員の会話の中から個人情報が漏れないよう場所や声の大きさに気をつけたが、意識していないとご利用者の前で申し送りをしている場面があり、今後も配慮が必要。
- ・タブレット管理と合わせ個人メモの取り扱いにも注意した。
- ・共有スペースでの個人情報の管理は職員間で注意し声を掛け合った。意識が高まっていると感じた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	5	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	3	9	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	8	0	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	7	0	0	12

## できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・言葉での抑制(スピーチロック)を行わないようにしている。突発的な動きもあると思うが、その前に何らかの動きが必ずあると思う為周りの状況に目を向けるようにしている。他者援助中で直ぐに対応が出来ない時はしっかり説明し納得をしてもらえるような声掛けを行っている。
- ・訪問時のタブレット管理やメモの取り扱い(紛失や個人を特定できる書き方)は十分に注意している。徹底した管理が研修や話し合いの場でできている。
- ・ご利用者に他利用者やその場にはいない職員の情報をお話さないようにした。ご利用者から他職員のことを聞かれることがあるので職員でのプライバシー保護のためにも注意した。
- ・職員間での情報共有は場所や時間に気を配り行った。タブレット持ち出し時は常にカバンに入れて肌身はなさず管理した。

## できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・余裕のない時に行動を抑制するような言葉掛けになってしまうことがあった。急いでいる時や転倒リスクの高い方などを優先し落ち着いている方や動きの少ない方を後回しにしているところがある。
- ・ご利用者のプライバシーに関する内容を業務の申し送りの流れで他利用者がある空間で話してしまう場面があった。
- ・虐待ではないが認知症の方のケア方法について、家族の意向とはいえ本人が望んではいないことを援助し、精神的に追い詰めていく事案について対処法がわからない。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・タブレットの入力方法については検討を続け取り扱いについても定期的に話題にあげて意識づけを行う。
- ・情報の管理やプライバシー保護については研修の機会を持ち、参加できない職員にも必ず伝達できるようにする。